

資料1

ぶ け しょ は っ と き さ い な い よ う か い て い
 武家諸法度の記載内容の改定

	出した將軍 出された年	とくがわひでただ 徳川秀忠 1615	いえみつ 家光 1635	いえつな 家綱 1663	つなよし 綱吉 1683
※ → は記載がある時期を示す。					
ぶんぶきゅうば 文武弓馬の道を心がける (武芸と学問の両立)					→
ちゆうこうはげ 文武忠孝を励まし、 れいぎ 礼儀を正す (主君への忠義・親への孝行などの礼儀の重視)					→
しろうちくじょう 新しい城の築城の禁止 (軍事力の制限)					→
きよか 許可のない結婚の禁止 (大名同士の結束の制限)					→
きてい 参勤交代の規定 (大名と しゅじゅう 將軍の主従関係の確認)					→
ようし 養子の規定、 じゅんし 殉死の禁止 (養子を広く認め、 主君を追って自殺することを禁止)					→

あんたけまる

資料2 安宅丸 [3代將軍家光(父)が建造した軍船]の解体



1682年9月18日

『役に立たないものは無益なだけでなく、または人の心配事になる。まして、そのような飾りもの船を大切に持つことは間違っている。直す必要はない。この船を破壊してもよい。』

資料3 「天下一」の禁令

①1682年7月11日

職人が「天下一」の称号しょうごうを使うことを禁止する。

②1682年7月16日

「天下一」という文字は、看板かんばんや暖簾のれんそして、所有する道具ほに書くのも彫るのも鑄造ちゅうぞうするのも禁止、すでにあるものはけずりとするようにしなさい。

資料4 朱子学しゅしがくの奨励しょうれい

朱子学くんしん しゅじゅうがく…君臣の主従関係や父子の上下関係を大切にする学問

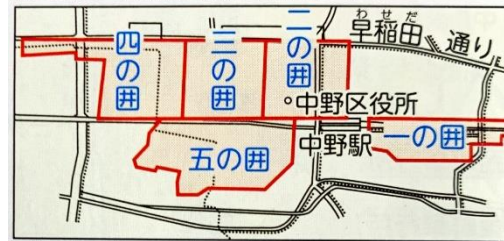
天は高く、地は低い。自然にも上下の区別があるように、人にもまた、主君しゅくんは尊く臣下とうと しんかは身分が低いということがある。上下の順序をふまえて、礼儀れいぎや規則は定められ、国は治まるのである。
(幕府に使えた朱子学者 林羅山)



資料5 生類憐みの令しょうるいあわれ

- 一. 捨て子がいたら、その所の者がやしな養うか、養子ようしを希望する者の所につかわすこと。
 - 一. 飼い主かこがいなく犬に食べ物をあたえると飼い犬のようになるのが面倒で、いたわらないと聞く。よくないことである。
 - 一. すべての生類しょうるいを慈しむ心いつくを基本とし、憐れあわむことが大切である。
- ※犬を斬りつけた者は死刑、蚊を殺した者は流刑など違反者をきびしく処罰しよばつしました。

かこ お囲い(犬小屋)の位置図



- ・面積 約1 km²
- ※東京ドーム約20個分
- ・犬の飼育数 数万~30万頭

